

今回は、旭川を実際に踏査・調査した人物によるオサラツペ川の表記の主なものを一覧する。

旭川のアイヌ語 地名研究

17

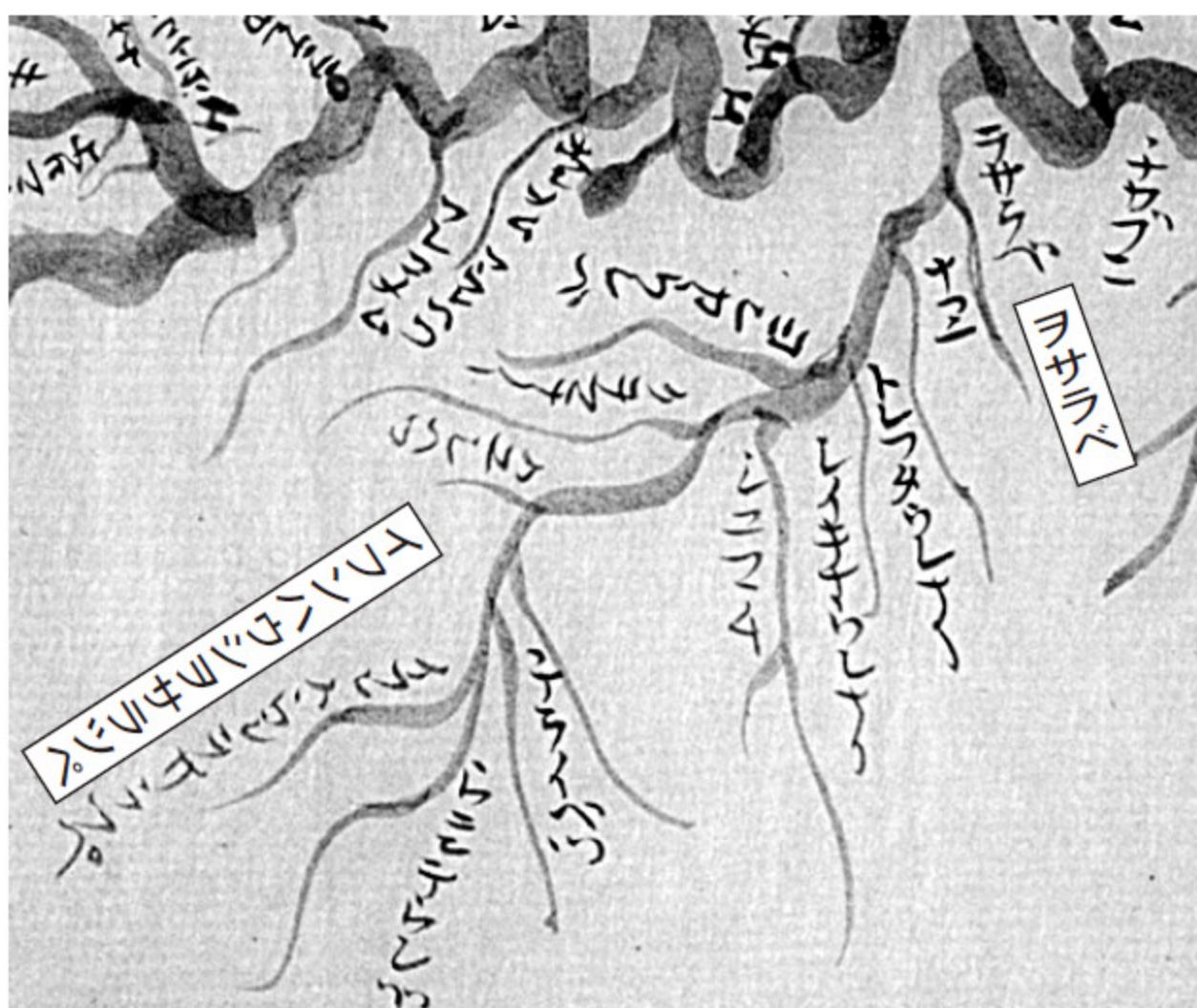
高橋 基

文化四年（一八〇七年）の近藤重蔵の川筋図、蝦夷図^{えぞず}には、オサラツペ川の記録はない。第三回で紹介した伝・文化十四年（一八一七年）、間宮林蔵作成の蝦夷地図では「ヲサツベ川」、支流に「トイヲサラベ川」がある。間宮の資料を元に編集され、高橋景保^{かげやす}がシーボルトに贈り、その後幕府に没収されたという、『蝦夷図』では「ヲサラツペ川」で、「ヲサラツペ」の初出。

サラベツ。同年に調査の松浦武四郎は、前回紹介したシイピラサから聞かが、「ヲサラベツ」物を分ける事を云。差帳で、上川の大首長であつた文化十三年（一七八）生まれのクウチンコロからの聞き書きでは「オサラベ」である。写

図は明治八年。明治七年、ライマン「ヲサラツペ」「ヲサラベツ」。明治九年、松本十郎「ヲサラベツ」。明治十五年、福士成豊「雄猿辺」。明治十七年、高橋不二雄（紀行文には記載なく、明治二十年の『改正北海道全図』では）

「サラツペ川」「ヲサラツペポロニタイ」等の種々の表記が見られる。明治二十四年に近文原野の区画測設がなされ、同年、永田方正『北海道蝦夷語地名解』の発刊、明治二十五年には鷹栖たかすむら村が設置される。明治二十六年には北海道庁が発行した『石狩国上川郡鷹栖村区画図』に「オサラツペ川」が記載され、以後、公式名称となつたと推定される。



写真② 川々取調帳

— オサラツペ川の表記履歴 —

民地撰定を担当した福原鉄之輔の復命書では、「ヲサラツ別川」「ヲサラツ地方」「ヲサラツ原野」「ヲ

としながらも、支流名では、「オサラペツ川筋」とし、支流に「イフンパウシユオサラペツ(i-hunpa-ushi-osara-pet 太^ヲ_{トビル}舊^ヲ_{ツル}切ル処)」と記述している。また、永田方正が「此処茅^{かや}なし」とわざわざ明記した事、今号の川名表記履歴、川口付近の状況等々を勘案すると、オサラツペ川の地名解は、松浦武四郎がシイピラサから聞いた、「オサラペツ(o-sara-pet 川口・開いてる・川)」が、最も妥当と思われる。

真①は、その野帳のオサラベの部分で、支流名が十一個記載され、その最後の支流名が、「イフンハウシヲサラツペ」。これらが、写真②の『川々取調帳』に描かれ、『東西蝦夷山川地理取調図』に転写され、また、報文日誌「再^{さい}石狩日誌」に、「サルブツ一本名才サラベと云よし。訳して物の終りと云事のよし。」と記された。

以下、紙幅の関係で資料名を割愛して、調査年と氏名、オサラツペ川の表記を列挙する。明治五年、高畠利宣^{たかばたけと}「ヲサルベ川」。明治六年、ワツソ^はン「ヲサルベ川」「Osarape R」（地

図は明治八年。明治七年、ライマン「ヲサラッペ」「ヲサラベツ」。明治九年、松本十郎「ヲサラベツ」。明治十五年、福士成豊「雄猿辺」。明治十七年、高橋不二雄（紀行文には記載なく、明治二十年の『改正北海道全図』では）

「サラツペ川」「ヲサラツペポロニタイ」等の種々の表記が見られる。明治二十四年に近文原野の区画測設がなされ、同年、永田方正『北海道蝦夷語地名解』の発刊、明治二十五年には鷹栖たかすむら村が設置される。明治二十六年には北海道庁が発行した『石狩国上川郡鷹栖村区画図』に「オサラツペ川」が記載され、以後、公式名称となつたと推定される。

としながらも、支流名では、「オサラペツ川筋」とし、支流に「イフンパ-ウシユオサラペツ(i-hunpa-ushi-osara-pet 太奪^ヲヒル切ル処)」と記述している。また、永田方正が「此処茅^{かや}なし」とわざわざ明記した事、今号の川名表記履歴、川口付近の状況等々を勘案すると、オサラッペ川の地名解は、松浦武四郎がシイピラサから聞いた、「オサラペツ(o-sara-pet 川口・開いている・川)」が、最も妥当と思われる。

川」「ヲサラツペポロニタ種々の表記が見られる。明年に近文原野の区画測設が解^{むしら}の発刊、明治二十五年同年、永田方正^{ほうせい}『北海道蝦夷村^{えぞむら}』が設置される。明治二十北海道庁が発行した『石狩鷹栖村^{たかすむら}区画図』に「オサラガ」が記載され、以後、公式名が記載され、以後、公式名たと推定される。

正は、川名を「オサラツペ」らも、支流名では、「オサラ」^フとし、支流に「イフン・パサラペツ^{（i-hunpa-ushi-pet 太^{ヒル}糞^ヲ切^ル処）}」と記する。また、永田方正が「此」とわざわざ明記した事、名表記履歴、川口付近の状勘案すると、オサラツペ川は、松浦武四郎がシイビラいた、「オサラペツ^{（o-sara}口・開いている・川）」が、最もわれる。